

## 報道関係 各位

※このリリースは複数の部署にお送りしています。

2013年7月2日

### 阿久悠記念館 来場者 3 万人記念イベント

## 「“甲子園の詩”を語る—阿久悠の紡いだあの名勝負—」を開催

阿久悠が紡いできた「甲子園の詩」と熱闘の舞台を、伝説の元高校球児・審判・記者たちが語る！

明治大学阿久悠記念館は、2011年10月の開館以来、時代を見つめ言葉を紡ぎ続けた阿久悠（文学部卒）の思いと仕事を紹介してきました。このたび、記念館では来館者3万人を記念したトークイベント「“甲子園の詩”を語る—阿久悠の紡いだあの名勝負—」を開催いたします。

1979（昭和54）年から2006（平成18）年までの28年間、阿久悠は夏の甲子園に視線を注ぎ、合計363篇の詩を紡ぎました。スポーツニッポンに毎年連載された「甲子園の詩」が一冊の本（幻戯書房刊 7月 25 日発売予定）として世に出るこの夏、詩にうたわれた名勝負の関係者が集い、「阿久と甲子園」を語ります。



阿久 悠 氏（1959年文学部卒業）

また、本イベントと連動して企画展示を開催いたします。

#### <出席者紹介>

##### 林 清一

第73回（91年）から第93回大会（11年）まで夏の甲子園のアンパイア。史上初のサヨナラボークとして知られる第80回大会（1998年）豊田大谷対宇部商などで主審を務めた。

##### 宮内 正英

スポーツニッポン記者として「甲子園の詩」を担当。

##### 藤田 修平

元宇部商投手。第80回甲子園大会豊田大谷対宇部商戦で延長15回を熱投。

##### 榊 寿之（司会）

元NHKアナウンサー。スポーツアナウンサーを経て、「ラジオ深夜便」「にほんごであそぼ」を担当。

- 【日 時】2013年7月20日（土曜日）  
14時から（15時30分終了予定）
- 【場 所】明治大学駿河台キャンパス  
リバティタワー9階 1096教室
- 【主 催】明治大学
- 【協 力】株式会社 阿久悠／  
スポーツニッポン新聞社／幻戯書房
- 【企画制作】オフィス・トゥー・ワン
- 【定 員 数】150名（先着順。要事前申込）  
入場無料
- 【申 込 先】明治大学史資料センター  
03-3296-4085  
（受付時間 月-金※祝日除く9時30分-17時）

◇取材のお問い合わせ

明治大学広報課 担当：澤内 電話：03-3296-4082